



2024年2月14日

各位

会 社 名 ONE GROUP 株式会社
(コード番号 6168 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 田中 文彦
問 い 合 せ 先 取締役経営企画室長 金田 善雄
電 話 番 号 06-6787-1818
U R L <http://www.lgroup.co.jp/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2023年8月14日の決算短信において開示しました2024年6月期（2023年7月1日～2024年6月30日）の業績予想を下記のとおり、修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年6月期の連結業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,803	196	188	122	157.65
今回修正予想 (B)	6,612	△186	△199	△205	△263.27
増 減 額 (B - A)	△1,191	△382	△387	△327	—
増 減 率 (%)	△15.2%	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2023年6月期)	6,011	△81	△86	237	304.88

2. 連結業績予想の修正の理由

当社グループの中核企業である株式会社オージックは、2024年の業界全体の受注実績が1兆5,000億円（日本工作機械工業会発表、2023年の受注実績は1兆4,865億円）となる工作機械業界を主取引先業界としております。一方で、株式会社オージックの工作機械受注は2023年12月分の速報値にて、2023年累計で前年比84.5%と大きく減速しており、当初予算より△13.8%の着地見通しとなりました。他のグループ会社においても、株式会社三翔精工では中国経済の減速の影響を受け、並びに、株式会社フジタイトでは半導体市場が2023年9.4%減少し、2024年も年度後半からの回復見通しとなることから半導体関連製品の需要低迷の影響を受け、株式会社オイダ製作所ではアメリカの住宅着工件数が2023



年度は前年同月比マイナス成長で推移したことから取引先より生産調整の影響を受ける等、当社グループとしての売上高は当初予想よりも通期で△15.2%の6,612百万円の見通しとなります。

上述の外部環境の中、売上原価を構成する材料費や外注加工費等の変動費を約1.5%低減する活動に努めておりますが、売上高減少による稼働の減少並びにエネルギー価格や人件費の上昇圧力もあり、売上高総利益は当初計画1,621百万円に対して1,077百万円となる見通しです。

販売費一般管理費もコスト削減に努めてまいりますが、売上総利益金額のマイナス幅をカバーしきれず、営業利益は、上記の影響で△186百万円となる見通しであります。経常利益は、営業外損益を算出し、△199百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、グループ通算制度にかかる法人税等を控除して、△205百万円となる見通しであります。

今後においては、引き続き生産性の向上に努めるとともに、賃上げ並びにエネルギー価格や原材料等の上昇に対するお客様への価格転嫁を進め、業績改善に寄与するよう活動を図ってまいります。

3. 業績等の予想に関する注意事項

上記の業績見通しは、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。

以 上